



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2026年3月 - 第45号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ：ホーリー祭

ホーリー祭は「色の祭り」や「愛の祭り」とも呼ばれ、インド亜大陸で祝われる最も鮮やかで楽しいお祭りの一つです。春の訪れを告げるとともに、善が悪に勝つことや、愛の力を祝います。この賑やかなお祭りは海外でも人気が高まり、今では世界中で祝われています。



ホーリー祭は、ヒンドゥー暦のファルグナ月の満月の翌日に祝われ、毎年3月頃です。2026年のホーリー祭は、3月4日となります。

ホーリー祭は、ヒンドゥー教の神話に由来しています。魔王ヒラニヤカシプは、無敵の体を持ち、すべての人に他の神を捨てて自分だけを崇拜するよう命じました。しかし、息子のプラフラダは、宇宙の守護者であり最も重要な神の一人であるヴィシュヌを深く信仰していました。ヒラニヤカシプは息子を何度も残酷に罰しましたが、プラフラダのヴィシュヌに対する信仰は揺らぎませんでした。それで、ヒラニヤカシプの妹ホリカは、プラフラダを騙し、自分の膝の上に彼を座らせ、焚き火の中で焼き殺そうとしました。ホリカは魔法のマントを持っていたので、それが火から守るはずでしたが、火が大きくなると

そのマントがプラフラダに飛び移りました。結果、プラフラダはマントに守られて助かり、ホリカは焼け死んでしまいました。

この物語は勧善懲悪、つまり善が悪に勝つことを象徴しており、ホーリー祭の前日の夜に「ホリカ・ダハン」という焚き火で祝われます。家族や友人が集まり、火の周りで歌ったり踊ったりします。ホリカの人形を燃やし、ココナッツ、ポップコーン、ヒヨコ豆、穀物などの供え物を火に投げ入れます。この火は悪いものを清めると信じられており、前向きで新しい気持ちで春を迎えられるようにしてくれると考えられています。



ホーリー祭の最も世界中で有名な遊びは、ヒンドゥー教のクリシュナとラーダーの神話に基づいています。クリシュナはヴィシュヌの化身で、いたずらが好きでした。濃い青色の肌をしているため、白い肌の愛の女神ラーダーに恋に落ちたとき、彼女に受け入れられないと心配しました。そこで、クリシュナはいたずらでラーダーの顔に色を塗り、自分と同じ青色にしました。

クリシュナとラーダーの伝説にちなんで、ホーリー

祭を祝う人々は「グラール」という鮮やかな色粉を投げたり、塗ったり、色水を掛け合ったりします。友人知人はもちろん通りかかった見知らぬ人にまで色を掛けるので、街がまるで虹のような色とりどりに染まります。お祭りに使用されている色粉は伝統的に自然由来の材料で作られており、それぞれの色に意味があります。

- ・ 赤：愛と子孫繁栄
- ・ 青：クリシュナを象徴する神聖な色
- ・ 緑：自然と新たな始まり
- ・ 黄：ウコンの色、健康
- ・ 橙：サフランの色、許し
- ・ 紫：魔法と神秘
- ・ ピンク：友情



色を掛け合うことは、クリシュナの遊び心とラダーへの永遠の愛を象徴します。現地の人は、これを「ホーリーを遊ぶ」と言います。ホーリーを遊ぶことで、身分や肌の色に関係なく、障壁を打ち破り、人々を結びつけます。誰でも参加できます。

ホーリー遊びに加え、伝統的な歌や踊りが一日中行われます。そして、「グジャ」というスイーツを食べます。グジャは、ミルクを煮詰めて固めた乳製品である「コア」と、甘くしたココナッツ、ドライフルーツ、ナッツなどを詰めた揚げ菓子です。また、ナッツやスパイスを含む冷たいミルクベースの飲み物「タンダイ」も飲まれます。



インド出身の江別市ALTであるジョセフ・アボンマイさんにホーリー祭の体験について聞きました。ジョセフさんは、ホーリー祭が好きではないと話していました。なぜかという、一部の男性がお酒を飲み過ぎたり、人に迷惑をかけたたりし、色遊びを口実に女性に対してセクハラや性的暴行をすることもあからださそうです。多くの女性や女の子がホーリー祭の期間中に外出を避けるとも話しました。

このような楽しいお祭りにも暗い側面があることを知り、悲しく思いました。しかし、問題はホーリー祭自体ではなく、女性を尊重しない男性たちにあります。近年では、全ての参加者が安心して楽しめるように様々な取り組みが行われています。例えば、政府やNGOがルールやマナーを参加者に知らせ、礼儀正しい行動を促進しています。若者たちはSNSを利用して同意の重要性について発信しています。警察は特に混雑した場所で警戒を強めています。また、女性専用や家族向けのイベントも開催されています。恐れることなく誰でも自由に祝うことこそがホーリー祭の真の精神です。

ホーリー祭は国際的にも注目され、今では世界各地で祝われています。南アジア以外で最大のホーリー祭は、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、モーリシャス、トリニダード・トバゴ、スリナム、ガイアナなど、インド系移民が多い国で開催されています。日本でも小規模なイベントがいくつか行われています！これらのお祭りは、インド文化を紹介し、楽しさと平和、そして団結を広めています。もし機会があれば、私もホーリーを遊んでみたいです！



お問合せ先
教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町 24-6
Tel : 011-381-1049 Fax : 011-382-3434